

昭和村長選挙

堤村政

3期目スタート

任期満了に伴う昭和村長選挙が5月12日に告示され、現職の堤盛吉氏(森下中)が無投票で当選しました。3期目を迎えた堤村長は6月1日、支援者や役場職員に出迎えられ、昭和村役場に初登庁しました。



昭和村長選挙で3期目の当選となった堤盛吉氏。5月18日には、昭和村役場で当選証書付与式が行われ、古澤昇選挙管理委員長が「ご当選おめでとうございます。新型コロナウイルスの厳しい問題がある中、2期8年経験されたことを活かし、昭和村のためにご尽力されるようお願いしたい」とあいさつし、堤氏に当選証書を付与しました。

6月1日には、役場で支援者や職員が出迎える中、堤村長が初登庁。その後、職員を代表し小林勝典副村長が「村を取りまく状況は厳しいが、村長の思いを実現するため職員一致団結して職務に務めたい」と歓迎し、堤村長は「この新型コロナウイルス感染症の難局を力を合わせて乗り越えるため、また、一層住みよい村づくりのために務めていきたい。協力をお願いしたい」と訓示しました。

堤 盛吉

【略歴】

- ・昭和26年1月11日生まれ(69歳)
- ・県立利根農林高等学校(現・利根実業高等学校)卒業
- ・元昭和中学校PTA会長
- ・元昭和村農業委員(2期)
- ・元昭和村議会議員(2期)
- ・平成24年5月から昭和村長
- ・現在、利根郡町村会長、群馬県町村会副会長



▲ 副村長から歓迎のことば

初登庁した堤村長に、職員を代表し小林副村長が歓迎のことばを述べました。



▲ 支援者・職員が出迎え

役場庭で堤氏の支援者や役場職員が出迎える中、堤村長が初登庁しました。



▲ 当選証書の付与

村長選挙で当選した堤氏に古澤選挙管理委員長が当選証書を付与しました。

昭和村長就任まで
Inauguration

元気で住みよい村づくりに全力傾注

このたびの村長選挙におきまして無投票当選となり、引き続き3期目の村政を担わせていただくことになりました。改めまして、課せられた使命と責任の重さに身の引き締まる思いであります。また、村民の皆様には、日々の感染リスクと向き合いながら、新型コロナウイルス感染症防止に向けた取組について特段のご理解とご協力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

さて、本村では、「みんなでつくる元氣な昭和村」を将来像に掲げた第5次総合計画の後期基本計画がスタートしました。これからの4年間は、本村の未来を方向付ける重要な時期となるため、あらゆる施策をバランスよく実施していきたいと考えております。そのためにも、安全・安心を第一に、子育て支援や教育環境の充実に力を入れるとともに、高齢者や障がいのある

方など、全ての村民の皆様が暮らしやすい村づくりに取り組んで参ります。

特に、今年度は、懸案である役場庁舎の老朽化に伴う新庁舎建設に向けて基本設計完了後に実施設計に入るとともに、村の玄関口に位置する道の駅については駐車場の混雑緩和を図るべく増設工事を行う計画です。また、コロナ禍の中で経済情勢は厳しい状況に直面していますが、住民生活や地域経済の回復に向けた本村独自の支援策を行っていきたいと考えております。

いづれにしましても、これまでの8年間の取組を礎として、次世代の子どもたちに「元気で住みよい昭和村」を引き継いでいきますよう、全力を尽くして参ります。皆様のさらなるご支援とご協力をお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

昭和村長 堤盛吉



◀職員から花束贈呈

役場職員から花束を受け取る堤村長。その後、職員に対しての訓示では「住みよい村づくりのため、また、新型コロナウイルス対策の難局を皆さんと共に力を合わせて乗り越えるため、さらなる協力をお願いしたい」と述べました。